

アセアン諸国、インド、中国のビジネスチャンスを探るシンポジウム 『健康・未病産業のグローバル化』 講演者プロフィール

尾崎美和子

Asia Medical Center (アジアメディカルセンター) 代表

東京理科大学薬学部卒業、同大学修士課程修了。総合研究大学院大学博士課程（国立遺伝学研究所）修了、博士（理博）。米国立保健研究所（NIH）博士研究員、理化学研究所研究員（プロジェクトリーダー）を経て、2005年に早稲田大学・生命医療工学研究所教授に就任。2006年に早稲田オリンパスバイオサイエンスシンガポール研究所・副所長。2011年よりA*STAR-Duke-NUS-Neuroscience Research Partnership・シニアフェロー。2011年11月より Asia Medical Center, Managing Director (現 CEO, Chairman)、2014年より中国国営研究所である新材料与产业技术北京研究院 研究所長・教授兼務。神経工学分野の研究開発とビジネスに従事。

アジアメディカルセンター(AMC)は、医療機器開発(R&D)とそのアジア市場への上市を主業務とするシンガポール現地法人である。バイオポリスに拠点を有し、AMC 訪問団体数(企業・アカデミア・行政等)1,000件以上(訪問者数としては5,000人以上)に及び、主に日本の技術や製品のアジア進出支援を行ってきた。主活動は、1)脳神経疾患診断・治療に必要なヒトと装置のインターフェイスやセンサー開発、2)外傷・脳腫瘍・脳卒中・老化等による脳損傷に対する脳機能補償や精神疾患改善のための神経ネットワーク機能制御といった脳神経科学分野の最先端技術開発、3)その技術を医療現場や社会に普及するための技術トレーニング&企業生産ラインのアレンジまでを行っている。科学&技術と医療を結ぶ世界規模のプラットフォームを有し実働している希有な組織である。

佐藤健一

日本人向け Private クリニック 医師、Nihon Assist Singapore Medical Project Director

1997年札幌医科大学医学部卒業。卒業後、日鋼記念病院/北海道家庭医療学センターにて4年間の研修を行い、家庭医の基礎を固める。修了後、沖縄の病院に就職し、病棟(高齢者向けの急性期・回復期リハビリテーション病棟)と外来診療、訪問診療の3箇所を兼務する。その環境から、日本の高齢化社会に向けて高齢者医療とリハビリテーションの重要性を実感し、家庭医に向けたリハビリテーション知識の普及に取り組む。

大阪のリハビリテーション病院にて研修を始める一方、学会で訪れたシンガポールで人種・宗教・習慣の多様性に衝撃を受け、海外から日本の医療を見たいという思いを強くし、2011年4月よりシンガポールの日本人向けのPrivateクリニックで勤務を開始する。

2012年からPublicの医療者とも交流を深め、高齢化を迎えるシンガポールで日本で培ってきた高齢者医療・福祉の知識と経験を紹介するとともに、シンガポールから日本の医療・福祉が学ぶべきことを日本に紹介している。

2013年、2014年とシンガポールの医療関係者とともにPublic Forumを開催し、2013年は転倒予防、2014年は口腔ケアと嚥下食と日本の高齢者医療の現状とその対策についての講演を行い、両国の高齢者医療に継続的に関わっている。

郷津陽祐

日成共益シンガポール株式会社 セールスマネージャー

2010年宇都宮大学卒、2012年宇都宮大学大学院修了後、日成共益株式会社へ入社。2014年NISSEI KYOEKI SINGAPORE PTE LTD 出向。NISSEI KYOEKI SINGAPORE PTE LTD はシンガポールをはじめ、東南アジアの各地域に進出している日系企業に乳製品をはじめとする食品原料を供給するため2014年に設立した。

親会社である日成共益は1932年(昭和7年)に乳タンパク質の一種であるカゼインタンパクの取り扱いを始めて以来、83年の歴史がある食品・化学品・建材を扱う専門商社。

近年ではニュートリション分野へ注力している。蓄積された乳タンパク原料の知識を活かして、多様な取り扱い品目の中から顧客の商品化に必要な原料・レシピの提案、さらに乳タンパクリテール製品製造までの一貫した取り組みを行っており、業界のニーズにあった新しい価値の提案を心がけている。

NISSEI KYOEKI SINGAPORE では現在、シンガポール国内の日系のケーキ、ベーカリーショップへ生クリームや栗製品、ナッツ製品の製菓・製パン原料を供給すべく営業活動を行っている。乳タンパクのみならず多様な原料の供給を通して日系企業のシンガポール・東南アジアビジネスをサポートしている。

コーポレートスローガン:「共に新しい価値を 幸せ商い企業 日成共益」

早川周作

有限責任監査法人トーマツ 農林水産業ビジネス推進室 シニアマネージャー

青山学院大学理工学機械工学科卒業、同大学航空宇宙工学科修士課程修了。

大学修士課程中 NAL(現在の JAXA)に出向して航空宇宙エンジンの開発に従事した後、米国企業にて自動車・航空・エネルギー・農業など幅広い業種における生産・制御システムの開発・技術コンサルティングに従事。2012 年より国内外において複数の植物工場の運営会社を設立、同会社の取締役に従事した後、有限責任監査法人トーマツ農林水産業ビジネス推進室にて、主に海外における輸出事業、植物工場事業の立ち上げ支援を行っている。

デロイト トーマツ グループは日本におけるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド(英国の法令に基づく保証有限責任会社)のメンバーファームおよびそのグループ法人(有限責任監査法人 トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社、税理士法人トーマツおよび DT 弁護士法人を含む)の総称。デロイト トーマツ グループは日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査、税務、法務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー等を提供している。また、国内約 40 都市に約 7,900 名の専門家(公認会計士、税理士、弁護士、コンサルタントなど)を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしている。デロイト トーマツ グループ Web サイト:www.deloitte.com/jp